

初めて学ぶ

都市計画 第三版

Town Planning

饗庭 伸・鈴木伸治・野澤 康 編著

阿部伸太・大澤昭彦・清水哲夫・牧 紀男 著

市ヶ谷出版社

「初めて学ぶ 都市計画（第二版・第三版）」発行にあたって

1868年の明治維新から150年が経過した。

江戸時代の長い鎖国が終わり、近代化の大きな転機となったのが明治維新であった。江戸時代後半の150年間の我が国の人口は3000万人で安定していたが、そこから150年間で1億人の人口が増加した。つまり、私たちはこの150年間で1億人が暮らす新しい都市をつくってきたことになる。

都市をつくってきたのは、私たち自身である。快適な生活をしたい、よい仕事をしたい、こうした単純な必要性に基づいて、私たちはこの150年間、都市をつくり続けてきた。しかし、私たちの全てが独自の考えで都市をつくってしまうと都市空間は混乱してしまう。そこに都市計画が登場する。

明治維新以降に導入された都市計画は、江戸時代までの都市計画と区別して「近代都市計画」と呼ばれる。近代都市計画は150年間を3つの時期に区切るようにして発展してきた。

最初の時期は、1919年の都市計画法制定までの50年間であり、江戸期の都市計画から近代都市計画への転換期へと位置付けられる。

次の時期は、第二次世界大戦を挟んで新しい都市計画法が制定される1968年までの50年間である。戦前の経済成長、戦災からの復興、戦後の経済成長の中で勢いよく形成される都市を最低限の基準でもって、つくりきった時期と位置付けられる。

そこから今日にいたるまでの50年間は、都市空間が量から質へと転換していった時期であり、政府主導から民間主導、市民主導の都市計画への転換期でもあった。

さて、次の50年はどういう時代であろうか。

人口減少、地球環境の変化、災害の発生という大きな前提ははっきりしているものの、経済のさらなるグローバル化とそれに伴う人口移動、AIをはじめとする都市に関わる様々な技術やサービスの高度化など、予測できない未来が私たちの前に広がっている。これからの都市計画に携わる専門家には、様々な起きる可能性と課題に対して、創造的に答えをつくり続けることが求められる。

我が国の都市計画は、150年かけてつくり出されてきた体系を持っている。もちろんその制度には様々な課題があるが、これから求められる創造的な取り組みの基礎であることには変わりはない。

本書はこのような、我が国の都市計画の基礎を学ぶ人たちに向けて執筆されたものである。

2018年2月（第二版）

2023年12月（第三版）

編修・執筆代表

饗庭 伸

「都市計画（第三版）」

目次

| | | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 第1章 都市計画を学ぶ ……………1 | 3・1 はじめに……………25 | 4・3 「用途」の規制……………40 | (5) 駐車・荷捌き需要のマネジメント……………68 |
| 1・1 都市計画を学ぶ……………1 | 3・2 都市はどのように形成されたか……………25 | (1) 用途のコントロールの必要性……………40 | 6・2 交通拠点を核とした都市づくりと再生……………68 |
| 1・2 都市の要素と設計……………2 | (1) 戦災復興と土地区画整理事業……………25 | (2) 「用途」の規制内容……………40 | (1) 鉄道駅の再生とまちづくり……………68 |
| 1・3 あなたの街の都市計画を知る……………4 | (2) スプロール市街地……………25 | 4・4 「密度」の規制……………41 | (2) 港湾空間を活用したまちづくり……………69 |
| 1・4 都市計画で何ができるか？……………11 | (3) 大規模ニュータウン……………26 | (1) 密度規制の必要性……………41 | 6・3 持続可能な都市構造と交通システム……………70 |
| 1・5 専門家の役割とこれからの都市……………13 | (4) 民間電鉄会社による沿線開発……………26 | (2) 密度規制の内容……………42 | (1) 都市内における交通機関の機能分担……………70 |
| 第2章 都市と都市計画 ……………14 | (5) 土地区画整理事業と公園・公社の団地開発……………27 | 4・5 高さ・配置の規制……………43 | (2) 公共交通指向型都市開発とコンパクトシティ……………70 |
| 2・1 都市について理解する……………14 | (6) 民間デベロッパーによる開発……………27 | (1) 高さ・配置の規制の必要性……………43 | (3) 地域公共交通の活性化……………71 |
| (1) 都市とは……………14 | (7) 人口減少と市街地の再編成……………27 | (2) 高さ・配置の規制……………44 | (4) 都市における道路ネットワーク形成……………72 |
| (2) 都市の起源と都市化……………14 | 3・3 都市の把握の方法……………28 | 4・6 規制緩和による市街地環境の向上……………46 | 6・4 都市交通システムの計画技術……………72 |
| (3) 都市の地域構造と都市圏……………15 | (1) 都市の密度を把握する……………28 | 4・7 こんな問題を考えてみよう……………47 | (1) 市民参加型の交通計画手法……………72 |
| (4) 都市の範囲……………16 | (2) 都市と後背地の関係を把握する……………28 | 用語集……………47 | (2) 交通需要予測手法……………73 |
| 2・2 都市計画の意義について考える……………16 | (3) 都市の構造を把握する……………28 | 第5章 地区スケールの計画・ルール ……………52 | (3) 都市交通プロジェクトの環境影響評価手法……………73 |
| (1) 都市計画とは……………16 | (4) 都市核・都市軸で市街地の構造を分析し、方針を考える……………29 | 5・1 地区スケールの計画・ルールの必要性と背景……………52 | 6・5 こんな問題を考えてみよう……………74 |
| (2) 都市計画の歴史……………17 | 3・4 土地利用計画の方法と制度……………29 | 5・2 地区スケールの計画・ルールの種類と特徴……………52 | 用語集……………74 |
| 2・3 都市計画の理論・思想……………17 | (1) 都市計画マスタープラン・都市計画区域マスタープラン……………30 | (1) 建築協定……………52 | 第7章 都市と自然 ……………77 |
| (1) 田園都市（Garden City）……………17 | (2) 区域区分と開発許可……………30 | (2) 地区計画……………54 | 7・1 都市計画における公園整備・緑地保全の意義……………77 |
| (2) 機能主義の都市計画……………18 | (3) 用途地域に代表される地域地区……………31 | (3) その他の地区スケールの諸制度……………55 | (1) 都市における「自然」の多様性と本質……………77 |
| (3) 生態的・科学的都市計画……………18 | (4) 立地適正化計画……………32 | 5・3 地区スケールの計画・ルールづくりのプロセス……………56 | (2) 「都市緑地」の効果……………77 |
| (4) 近隣住区論……………19 | 3・5 こんな問題を考えてみよう……………32 | 5・4 地区スケールのルールのメリットと限界……………57 | 7・2 英国における狩猟苑の開放による「公園」の誕生……………78 |
| (5) 都市の捉え方・記述のしかた……………19 | 用語集……………33 | 5・5 こんな問題を考えてみよう……………58 | 7・3 米国のパークシステムの展開と大規模公園……………78 |
| (6) 反機能主義の都市論……………19 | 第4章 建築物のコントロール ……………37 | 用語集……………58 | 7・4 日本における公園整備、緑地保全の歴史……………79 |
| (7) 伝統回帰と持続可能な都市……………20 | 4・1 市街地の構成……………37 | 第6章 都市の再生と交通システム ……………65 | (1) 「都市緑地」の歴史的積層性とまちづくり……………79 |
| (8) 地球環境への配慮と新しい技術の導入……………21 | 4・2 規制手法の構成……………37 | 6・1 街路からの都市づくりと再生……………65 | |
| 2・4 都市計画制度の沿革……………21 | (1) ベースの規制手法：用途地域……………37 | (1) 街路の歩行安全性確保の考え方……………65 | |
| (1) 近代都市計画の成立と制度化……………21 | (2) オプションの規制手法：用途地域の補完……………39 | (2) 都市における自転車利用の新たな展開……………66 | |
| (2) 日本の近代都市計画制度の沿革……………22 | (3) 敷地と道路……………40 | (3) 自動車優先の見直しによる商業地区活性化……………67 | |
| 2・5 こんな問題を考えてみよう……………22 | | (4) 憩いの空間としての街路……………67 | |
| 用語集……………23 | | | |
| 第3章 都市の構成と土地利用計画 ……………25 | | | |

| | |
|----------------------------|-----------|
| (2) 「神宮の森」づくりと参道整備 | 79 |
| (3) 風致地区制度による「面」としての緑地保全 | 79 |
| (4) 関東大震災後の震災復興公園と防災機能 | 80 |
| (5) 幻の環状緑地計画・東京緑地計画 | 81 |
| (6) 高度経済成長期における地域制緑地制度 | 81 |
| 7・5 「都市公園」の制度と背景 | 82 |
| (1) 都市施設としての「公園」 | 82 |
| (2) 営造物としての「都市公園」の種類別と配置標準 | 82 |
| 7・6 都市緑地法を根拠法とした「緑の基本計画」 | 83 |
| (1) 「都市緑地」の多様性と「緑の基本計画」 | 83 |
| (2) 計画策定にむけた与条件の整理 | 84 |
| 7・7 公園・緑地の整備・保全・創出のこれから | 85 |
| 7・8 こんな問題を考えてみよう | 86 |
| 用語集 | 87 |
| 第8章 市街地開発事業と都市再生 | 90 |
| 8・1 市街地開発事業とは何か | 90 |
| (1) 市街地開発事業とは何か | 90 |
| (2) 市街地開発事業と都市再生 | 90 |
| 8・2 日本の市街地開発事業の歴史 | 91 |
| (1) 土地区画整理事業 | 91 |
| (2) 市街地再開発事業 | 92 |
| (3) その他の計画的な市街地を効率的に整備する事業 | 92 |
| (4) 防災街区整備事業 | 92 |
| (5) 都市再生の時代へ | 92 |
| 8・3 日本の市街地開発事業の特徴 | 93 |
| 8・4 市街地開発事業が直面している課題 | 94 |

| | |
|------------------|----|
| 8・5 都市再生の実際 | 94 |
| (1) 都市中心核の再生 | 94 |
| (2) 木造住宅密集市街地の再生 | 95 |
| (3) 中心市街地の再生 | 95 |
| (4) 団地再生 | 96 |
| (5) 集合住宅の再生 | 97 |
| (6) 戸建て住宅地の再生 | 97 |
| 8・6 こんな問題を考えてみよう | 97 |
| 用語集 | 98 |

第9章 都市と防災 100

| | |
|------------------|-----|
| 9・1 災害にどう対処するのか | 100 |
| (1) 都市と防災 | 100 |
| (2) 被害を想定する | 100 |
| (3) 災害発生後の対応 | 101 |
| 9・2 都市を災害から守る | 102 |
| (1) 防災の制度の変遷 | 102 |
| (2) 火災から都市を守る | 102 |
| (3) 地震動から都市を守る | 103 |
| (4) 水害から都市を守る | 104 |
| (5) 津波から都市を守る | 104 |
| (6) 土砂災害から都市を守る | 105 |
| (7) 火山から都市を守る | 105 |
| (8) 犯罪から都市を守る | 106 |
| 9・3 被災したまちを再建する | 106 |
| (1) 災害の種類と地域特性 | 106 |
| (2) 地震からまちを再建する | 108 |
| (3) 津波からまちを再建する | 108 |
| (4) 事前復興の試み | 109 |
| 9・4 こんな問題を考えてみよう | 109 |
| 用語集 | 110 |

第10章 都市の景観まちづくり 113

| | |
|-------------------|-----|
| 10・1 景観とは何か | 113 |
| 10・2 都市景観の構成要素・種類 | 113 |
| 10・3 さまざまな景観まちづくり | 115 |
| (1) 景観を「まもる」 | 115 |
| (2) 景観を「つくり、そだてる」 | 117 |

| | |
|-------------------------|-----|
| 10・4 景観まちづくりと法制度 | 118 |
| 10・5 景観法とそのしくみ | 119 |
| 10・6 景観まちづくりに関連するその他の制度 | 120 |
| 10・7 公共空間の整備・活用と景観 | 121 |
| 10・8 こんな問題を考えてみよう | 122 |
| 用語集 | 122 |

第11章 参加・協働のまちづくり 124

| | |
|----------------------------|-----|
| 11・1 参加・協働のまちづくり | 124 |
| 11・2 様々な参加・協働のまちづくり | 124 |
| 11・3 参加・協働のまちづくりの定義 | 126 |
| (1) 登場人物 | 126 |
| (2) 参加・協働のまちづくりのテーマ | 127 |
| (3) 活動の期間 | 127 |
| (4) 参加・協働のまちづくりの定義 | 127 |
| 11・4 参加・協働のまちづくりの意義 | 127 |
| (1) 質の高い都市計画・デザインを行う | 128 |
| (2) 紛争の回避 | 128 |
| (3) 都市計画に正当性を与える | 128 |
| (4) コミュニティをつくる | 128 |
| 11・5 参加・協働のまちづくりの方法・制度 | 128 |
| 11・6 計画プロセスをデザインする方法・制度 | 129 |
| 11・7 主体をデザインする方法・制度 | 130 |
| (1) どのような主体があるか | 130 |
| (2) 主体の育成制度 | 130 |
| 11・8 コミュニケーションをデザインする方法・制度 | 131 |
| (1) 議論を豊富化する手法 | 131 |
| (2) 議論を支える手法 | 131 |
| (3) 計画を絞り込む手法 | 131 |
| (4) 情報を外部に伝える手法 | 131 |
| 11・9 こんな問題を考えてみよう | 131 |

| | |
|-----|-----|
| 用語集 | 132 |
|-----|-----|

事例編 まちを歩くときの注意事項 137

| | |
|-------|-----|
| 事例マップ | 138 |
|-------|-----|

事 例

| | |
|------------------------------------|-----|
| 事例1 札幌都心部：魅力的な公共空間による都心構造強化 | 140 |
| 事例2・1 函館：北の開港都市のシェアリングヘリテージ | 144 |
| 事例2・2 小樽：シェアリングヘリテージによる都市再生の模索 | 146 |
| 事例3・1 弘前：あずましの城下町・弘前の都市計画を学ぶ | 148 |
| 事例3・2 黒石：「こみせ」が生み出すあずましの公共空間 | 150 |
| 事例4 仙台：新旧の都市計画を巡る | 152 |
| 事例5 東京都心部：神田・丸の内 | 156 |
| 事例6 多摩ニュータウン | 160 |
| 事例7 世田谷：下北沢、梅ヶ丘、三軒茶屋／市民参加と公共空間を学ぶ | 164 |
| 事例8 横浜都心部：都市デザインの現場を歩く | 168 |
| 事例9 川越中心市街地：歴史・文化を活かした住民主体の景観まちづくり | 172 |
| 事例10 長岡：城下町・戦災復興都市のまちなか再生を巡る | 176 |
| 事例11 金沢：保全型都市計画の現場を歩く | 180 |
| 事例12 富山中心部：公共交通を軸としたコンパクトなまちを歩く | 184 |
| 事例13 小布施町：まちなかのにぎわいと、豊かな農村風景 | 188 |
| 事例14 名古屋都心部：都市基盤の歴史 | |

| | | | |
|-------|---|--------------|--------------------------------|
| | を歩く……………192 | | 都を歩く……………220 |
| 事例 15 | 京都：歴史都市の保全刷新の歩 みをたどる……………196 | 事例 22 | 福岡都心部：福岡と博多をつな ぐ……………224 |
| 事例 16 | 大阪都心部：都市再生の現場を 歩く……………200 | 事例 23 | 北九州市門司港：港湾都市の新 旧を巡る……………226 |
| 事例 17 | 神戸：都心ウォーターフロント と阪神・淡路大震災後の復興の まちを歩く……………204 | 事例 24 | 熊本市中心部：城下町熊本を歩 く……………228 |
| 事例 18 | 高松：まちなか再生と地方都市 ……………208 | 事例 25 | 鹿児島：震災復興の都市空間を 活かす……………232 |
| 事例 19 | 広島：国際平和文化都市「ひろ しま」を歩く……………212 | 参考文献……………236 | |
| 事例 20 | 福山市鞆の浦：瀬戸内の歴史的 港湾都市……………216 | 索引……………241 | |
| 事例 21 | 松江：歴史的町並みの残る水の | | |

〔執筆担当（第三版）〕

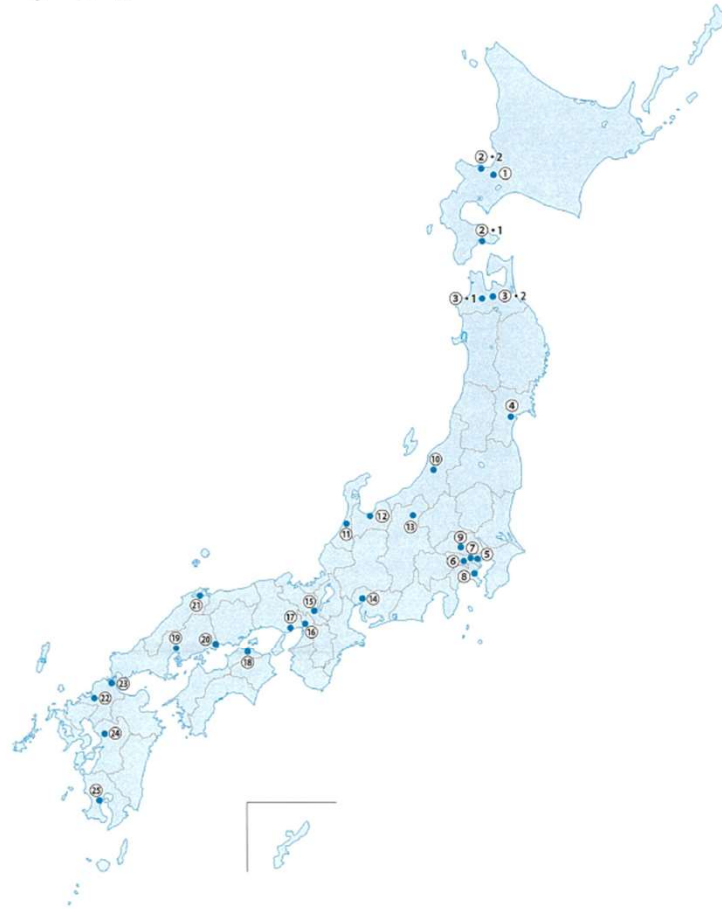
本文

| | |
|------|---------------------|
| 第1章 | 饗庭 伸 |
| 第2章 | 野澤 康 (旧著作者 根上彰生) |
| 第3章 | 饗庭 伸 (旧著作者 柳沢厚) |
| 第4章 | 大澤 昭彦 |
| 第5章 | 野澤 康 (旧著作者 加藤仁美) |
| 第6章 | 清水 哲夫 |
| 第7章 | 阿部 伸太 |
| 第8章 | 饗庭 伸 (旧著作者 伊達美徳) |
| 第9章 | 牧 紀男 |
| 第10章 | 鈴木 伸治 |
| 第11章 | 饗庭 伸 |

事例

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 事例 1 | 星 卓志 | 事例 13 | 勝亦 達夫 |
| 事例 2 | 池ノ上真一 | 事例 14 | 今村 洋一 |
| 事例 3 | 村上早紀子 | 事例 15 | 阿部 大輔 |
| 事例 4 | 小地沢将之 | 事例 16 | 嘉名 光市 |
| 事例 5 | 中島 伸 | 事例 17 | 栗山 尚子 |
| 事例 6 | 田中 暁子 | 事例 18 | 西成 典久 |
| 事例 7 | 泉山 昱威 | 事例 19 | 今川 朱美 |
| 事例 8 | 鈴木 伸治 | 事例 20 | 後藤智香子 |
| 事例 9 | 大澤 昭彦 | 事例 21 | 中野 茂夫 |
| 事例 10 | 樋口 秀 | 事例 22 | 黒瀬 武史 |
| 事例 11 | 佐野 浩祥 | 事例 23 | 志賀 勉 |
| 事例 12 | 阿久井康平 | 事例 24 | 田中 尚人 |
| | | 事例 25 | 小山 雄資 |

事例



| | | |
|-----|------------------|-----|
| ① | 札幌都心部 | 140 |
| ②・1 | 函館 | 144 |
| ②・2 | 小樽 | 146 |
| ③・1 | 弘前 | 148 |
| ③・2 | 黒石 | 150 |
| ④ | 仙台 | 152 |
| ⑤ | 東京都心部：神田・丸の内 | 156 |
| ⑥ | 多摩ニュータウン | 160 |
| ⑦ | 世田谷：下北沢、梅ヶ丘、三軒茶屋 | 164 |
| ⑧ | 横浜都心部 | 168 |
| ⑨ | 川越 | 172 |
| ⑩ | 長岡 | 176 |
| ⑪ | 金沢 | 180 |
| ⑫ | 富山中心部 | 184 |
| ⑬ | 小布施 | 188 |
| ⑭ | 名古屋都心部 | 192 |
| ⑮ | 京都 | 196 |
| ⑯ | 大阪都心部 | 200 |
| ⑰ | 神戸 | 204 |
| ⑱ | 高松 | 208 |
| ⑲ | 広島 | 212 |
| ⑳ | 福山市鞆の浦 | 216 |
| ㉑ | 松江 | 220 |
| ㉒ | 福岡都心部 | 224 |
| ㉓ | 北九州市門司港 | 226 |
| ㉔ | 熊本中心部 | 228 |
| ㉕ | 鹿児島 | 232 |